

第2回総合計画審議会(創造分科会)意見及びその対応

【凡例】

○関連部分の章

章	分類
全	計画全般
は	はじめに
1	第1章 社会経済環境の変化と横須賀の基礎的な課題
2	第2章 計画の条件
3	第3章 重点プログラム
4	第4章 まちづくり政策
5	第5章 まちづくりの推進姿勢

○対応分類の番号

No.	分類
1	意見を踏まえ修正するもの
2	参考意見と捉え修正は要しないもの
3	既に基本計画素案に盛り込まれているもの
4	実施計画の策定や事業の実施等の参考とするもの
5	策定手法に関するもの
6	質問事項と捉えるもの

H22.2.24

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
1	渡辺委員	素案を見て、現行計画とあまり変化がない上、その内容は8割、9割程度すでにコンクリートされているものを提示されているという印象を受けた。これでは、少し直す程度の余地しかなく、審議会で審議するものとしてふさわしくない。	全	-	-	-	6 質問事項と捉えるもの	あくまでも事務局が審議のたたき台として示した素案であり、審議会で議論するにあたってコンクリートされたものではない。
2	渡辺委員	人口減少、少子高齢化といった問題のほか、財政的な問題も単に危機を感じるのではなく、受け入れていかなければならない。現在の財政状況を考えると、「持続可能な発展を遂げる都市」という表現はふさわしくない。きれいごとばかりを並べても、財政的な裏付けのない計画は策定する意味がない。	全	-	-	-	2 参考意見と捉え修正は要しないもの	基本計画は、持続可能な発展を遂げる都市となるための土台をつくるため、長期的な視点で、あらゆる課題に対して取り組む「姿勢」を記載するものである。 また、財政的な課題等を克服するために、素案「第3章 重点プログラム」では、計画全体の根底に流れる基本的な戦略を掲げた。 これらの考えを踏まえつつ、財政的な裏付けを持って、実施計画や毎年度の予算で具体的事業を示していく。
3	渡辺委員	施策体系案を議会でも策定するという話があるようだが、特別委員会の設置など、議会が別個に活動するのではなく、議会も取り込みながら策定していく必要がある。	全	-	-	-	5 策定手法に関するもの	審議会開催時期と並行して市議会の特別委員会が開催されるので、事務局を通じて相互に審議内容を情報共有し連携を図ることで、よりよい計画を策定したいと考えている。
4	影山座長	基本計画素案には、抽象的な言葉が並んでおり、イメージがわきにくいのが、方針を決めなければ物事は何も進まない。	全	-	-	-	5 策定手法に関するもの	基本計画は基本的な施策を示すものであるが、今後、施策体系の各柱について詳細の説明を記載していく予定。 また、具体的事業については、同時に策定する実施計画で示す予定。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
5	藤原委員	高齢化に関し、福祉に関する記載については分かるが、生きがい対策について小柱レベルでふれられていない。	4	3	3	1	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	生きがいの要素は、「3-3-1 多様な学習機会と活躍の場の充実」で捉えている。
6	松本委員	子どもたちを大自然の中につれていくと、何気なく遊びが始まり、その遊びからルールが決まっていく。そのような考えから、市内に遊具のない、砂と緑の公園をつくってみたらどうか。そこで遊ぶ子どもたちの発想は豊かになり、遊具が原因による怪我も防止できるとともに、災害時の避難場所としても活用できる。	4	5	1	3	4 実施計画の策定や事業の実施等の参考とするもの	-
7	松本委員	横須賀市には、地域における青少年の育成活動を推進し、青少年の健やかな成長を支援する目的で青少年育成推進員が置かれている。ここには地域連絡会が置かれ活動しているが、子ども会とのかかわり合いが欠けている。地域の子どもたちは地域で育てるといった観点から、子ども会を視野に入れた仕組みづくりを考えてほしい。	4	3	1	2	4 実施計画の策定や事業の実施等の参考とするもの	-
8	渡辺委員	老人クラブは何人で1クラブといったように、人数によりクラブ結成数が決まることが市で定められているが、自分の地域では、人数による制限を設けるのではなく町内会規模で結成することで老人活動を活性化させたいとの意見がある。なお、どこかの柱にこの考えを盛り込むのであれば、先ほど藤原委員の意見にあった生きがいに関するものと同じ柱ではないかと思う。	4	3	3	1	2 参考意見と捉え修正は要しないもの	老人クラブの結成人数については、下限(30人)はあるが、上限はない。なお、結成人数により、運営費の補助額に差異はある。
9	吉村委員	「3-2-2 特色のある教育の推進」という柱について、この特色の考え方として横須賀市全体として特色を出していくという考え方なのか、学校単位で特色をつくっていくことなのか、特色あるという言葉の中身を考えていく必要がある。現場ではいろんなことがあるので、もう少し整理したほうが分かりやすいと思う。	4	3	2	2	6 質問事項と捉えるもの	横須賀市として行う特色ある教育であれば、一部の学校しか実施していないのもであっても「3-2-2 特色のある教育の推進」で捉える。
10	松本委員	「3-2 人間性豊かな子どもが育つ教育の充実」について、学校教育だけでは限界がある。すでに市内小中学校では、地域の力や企業・団体の力を借りた教育が行われている。学社連携・融合を柱に取り上げて、地域の力で学校教育の充実が図れるといい。その中で、農業や漁業関係も含めるようにすれば、横須賀らしい計画になるのではないか。	4	3	2	2	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	地域や企業・団体と連携・融合した教育という要素については、学校教育である「3-2-2 特色のある教育の推進」だけでなく、生涯学習である「3-3-1 多様な学習機会と活躍の場の充実」も合わせて捉えている。
11	影山座長	教育と子育てを分けて掲載せざるを得ないが、分けることで施策内容が分離することを防ぐ必要がある。	4	3	1	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	「3-1 子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実」と「3-2 人間性豊かな子どもが育つ教育の充実」については、個々に進めていくのではなく、子育て、教育のそれぞれについて目的を明確にしながら未来を支える人材を育成するために連携していくものと考えている。
12	大武委員	不登校の人や支援を要する人が多いという本市の現状がある。来年4月には岩戸に県立特別支援学校が開校する。支援を要する人や高齢者が地域で生活するには、例えば子どもの教育の関係の柱において、地域において子どもたちがそういった人たちに心配りができて、地域で支え合えるような施策を考えることが必要だ。基礎的な人づくりが必要。	4	3	2	1	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	基礎的な人づくりの要素は、「3-2-1 生きる力を伸ばす教育の充実」で捉えている。
13	大武委員	支援を要する人たちが地域社会で生活していくためには、働くということも当然視野に入れなければならない。キャリア教育が重要になってくる。支援を要しない人へのキャリア教育以上に、支援を要する人についてはもっと広範囲に、行政や事業者も含めて、どう取り組んでいくかという課題を「3-2-3 支援教育の充実」に盛り込んでほしい。	4	3	2	3	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	支援を要する人が働くという要素は、「4-2-2 すべての人々が社会参加できる機会づくり」で捉えている。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
14	大武委員	「3-3-2 スポーツ活動の振興」についても、障害者のためにそれなりの環境を整えることが必要。たとえば障害者・高齢者向けのスポーツエリアなどを設け、そのエリアでは、体育館やプールなどの施設のバリアフリー化を進めたり、医療機関と連携した健康づくりを行うなど高齢者や障害者のためのスポーツ環境を検討できればよい。	4	3	3	2	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	障害者・高齢者のスポーツ環境整備の要素は、「4-2-1 すべての人々が安心して利用できる施設づくり」で捉えている。
15	藤原委員	「3-2 人間性豊かな子どもが育つ教育の充実」は、学校教育に特化されているが、教育は学校だけではない。子どもに対する家庭教育・社会教育といった視点も盛り込まなければならない。	4	3	2	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	良好な育児環境づくりへの支援など家庭教育を促進するための視点や青少年活動への支援など社会教育を促進するための視点は、「3-1 子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実」で捉えている。
16	影山座長	大武委員の意見は、全体として問題を線で見ているが、実際の問題は面で捉えないと解決できないということである。高齢者との関わり、スポーツの問題などをつなげて地域の中で支援活動をしていく役割のアドバイザー、コーディネーターのような存在・仕組みが必要な気がする。	4	4	3	4	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	課題を面で捉えられるよう地域のネットワークの構築という要素を「4-3-4 相談支援体制の充実」で捉えている。
17	澤田副座長	人と人、人と自然、人と地域のつながりをどれだけ豊かなものにしていくのかという視点が計画全体を支えている根底、大前提としてある。「3-4 多様な文化の継承、発展、創造」という文化は、芸術という視点が相当大きい。先日、無縁死のニュースがあったが、例えばサービスの授受という文化がある。子どもや親にすら「助けて」と言えず孤立化していく状況があるなか、「助けて」と言える社会をどう作っていくか考える必要がある。このような状況を踏まえ、文化の定義をもう少し広くとらえて、芸術以外の視点があってもいいと思う。そういう意味では、文化の担い手の育成について、世代間交流などを強調した考えで捉えてもいいと思う。	4	3	4	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	地域住民相互の助け合いの要素は、「4-3-1 地域福祉サービスを支える人づくり」で捉えている。
18	澤田副座長	市に何をしてほしいかだけでなく、この中でも市民として何ができるのかという視点が必要である。	は	-	-	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	行政と市民が思いを共有するという要素を、「はじめに」で捉えている。
19	澤田副座長	「3-3-2 スポーツ活動の振興」について、現行計画の「3-2-2 地縁にとらわれない交流と連帯の支援」の小柱がスポーツ振興と表現され、内容が限定されてしまった。スポーツに限らず、自分が得意なことややりたいことが自分の自信や生きがいにつながる。	4	3	3	2	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	現行計画「3-2-2 地縁にとらわれない交流と連帯の支援」にあった、スポーツ以外の「個人」の活躍の場については「3-3-1 多様な学習機会と活躍の場の充実」で、ボランティアなど「連帯」に関するものは「4-3-1 地域福祉サービスを支える人づくり」でその要素を捉えている。
20	澤田副座長	生涯学習とは、いろいろ分からないこともあるなか、人とのかかわりを持ち、行動を起こし、そして共に生きるとはどういうことなのか、人として自分には何ができるのかというを考え、発展させていくことである。とすると、「3-3 生涯を通じて学び活動できる環境づくり」という意味の中に、生涯学習を通じて私たちがどのように育っていけばいいのかという方向性が見えるといいと思う。	4	3	3	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	「3-3 生涯を通じて学び活動できる環境づくり」で、「生涯を通じて活動し、その成果を地域に還元できるようにするため」という方向性を考えている。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
21	川名委員	支援ばかりをおねだりして、自分で汗を流すことを手放しがちである。子育てというのは、支援ばかりでは自立できない。自分も何か人の役に立って何か勝ち取ってこそ子育てが楽しくなる。自己実現を通して、それが心の充実につながるといいと思う。具体的には、「3-1-1 子どもを産み育てやすい環境づくり」の小柱の中にある産み、育ての中に、「自立」という文言を追加できればと思う。また中柱にも同様の文言を入れてみてはどうか。	4	3	1	1	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	「3-1 子どもが心豊かで健やかに育つ環境の充実」では、良好な育児環境づくりへの支援等を通じて、自立した子育てや市民の主体的な子育て支援活動を促進するという要素を捉えている。
22	川名委員	「3-2 人間性豊かな子どもが育つ教育の充実」の中柱の「教育を推進します」の前に「市民と共に」を入れてみてはどうか。	は	-	-	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	基本計画は行政が一方向的に進めるものではなく、「市民と共に」という要素が「はじめに」で大前提として捉えている。
23	川名委員	子育てに関する施策が多いのはいいことだが、その一方高齢者への意識が薄い。命の尊厳と高齢者への理解がなければ、これから自分が生きていく道が見通せないのので、「3-2-1 生きる力を伸ばす教育の充実」の小柱に、異世代、高齢者への理解という考えを盛り込み、先の世代さらにその先の世代への尊重の気持ちを通して自分の人生を考えてもらえたらと思う。	4	3	2	1	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	命の尊厳を理解することなど、基礎的な人づくりの要素は「3-2-1 生きる力を伸ばす教育の充実」で捉えている。
24	川名委員	「3-4-1 地域文化の掘り起こし、継承、振興」について、歴史的遺産だけではなく、例えば歴史的人物など歴史そのものも誇れるような教育をしてもらいたい。	4	3	4	1	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	いわゆる遺産のみならず、歴史的人物や歴史そのものも「3-4-1 地域文化の掘り起こし、継承、振興」で捉えている。
25	川名委員	「3-4-1 地域文化の掘り起こし、継承、振興」について、大人も子どもも、自分自身で価値を認めることができることでそれが誇りにつながるので、「継承・保存するとともに価値を認める」という文言を入れてもらいたい。	4	3	4	1	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	「3-4-1 地域文化の掘り起こし、継承、振興」は、文化や歴史を市民が誇りに感じるという考えに基づく施策であり、その前提として価値を認識することは含まれていると考えている。
26	川名委員	母親クラブメンバーは、子育て真っ最中の人で、普段は支援されている立場である。しかし、自ら支援し、企画して、その支援・企画したものについて同世代の人たちから感謝の言葉をかけられることで、母親たちはいい気分になって子育てが頑張れる。このように、市民が自分にも何かできるんだという視点を持ってもらえたらいい。	は	-	-	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	行政と市民が思いを共有し、市民の皆さんにもできることがあるという要素は、「はじめに」で捉えている。
27	松本委員	「4-1-2 人権を尊重する社会の形成」や「4-1-3 男女共同参画社会の形成」の説明で、「地域社会」という表現が出てくるが、「地域」という表現にこだわったのはなぜか。地域という言葉は捉え方によって意味合いが異なる。	4	4	1	2	6 質問事項と捉えるもの	「4-1-2 人権を尊重する社会の形成」や「4-1-3 男女共同参画社会の形成」でいう「地域社会」は、「横須賀という地域」を指しており、この施策では、人権を尊重する社会や男女共同参画社会の形成にあたって、横須賀市として実現を目指すことを示している。
28	松本委員	「4-2 ユニバーサルデザインのまちづくり」について、インターネットの普及状況はどの程度なのか。町内会の掲示板については、タイムリーな掲示がされているようには思えない。ITといっても、活用できない人も多くいる中、既存の広報掲示板の活用の仕方をもっと工夫するべきだと思う。	4	4	2	-	4 実施計画の策定や事業の実施等の参考とするもの	-

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
29	渡辺委員	全体の書きぶりについて、行政が「こういうことをやっていきます」という市民へのお知らせのような印象を受ける。市民としては、「こういうまちにしたい」ということを言っている、そのあたりの融合を考える必要がある。	全	-	-	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	基本計画は、市民の皆さんの「こういうまちにしたい、なってほしい」という前提・目標を受けて「こういうことをやっていきます」という施策を記載したものである。
30	渡辺委員	「4-2 ユニバーサルデザインのまちづくり」に関して、県・市は障害者手当てについて財政困難を理由に支給を取り止め、その費用をもってバリアフリー化を進めるという施策がとられている。障害者の中には、現金支給が必要という方もおり、議会でも度々議題になっている。 また、谷戸に居住している障害者、高齢者は、どうやって買い物や病院に行こうかということが一番の問題と感じている。 この計画には、これらの重要な課題を考える必要性が反映されていない。きれいごとばかりの文章だけでは、我々が作成しても市民に読んでいただきたいものばかりになってしまう。	4	4	2	-	4 実施計画の策定や事業の実施等の参考とするもの	-
31	遠藤委員	「4-2 ユニバーサルデザインのまちづくり」について、ユニバーサルデザインという文言より直接バリアフリーというほうがわかりやすい。なぜ変えたのか。	4	4	2	-	6 質問事項と捉えるもの	バリアフリーは、元々ある障害を取り除くという視点であり、ユニバーサルデザインはそもそも障害をつくらないという視点である。市の姿勢としては、バリアをつくらない施策を進めていきたいことから「4-2 ユニバーサルデザインのまちづくり」であると表現した。
32	遠藤委員	「4-4 健康づくりの推進と医療体制の充実」で心と体の健康を分離したが、心身の健康は一体化しているものである。分けなくていいのでは。	4	4	4	1	1 意見を踏まえ修正するもの	心身の健康は一体的であることから、「4-4-1 心の健康づくり」と「4-4-2 健康維持のための環境づくり」を統合し、「心とからだの健康づくり」とする。
33	遠藤委員	「4-4-3 医療体制の強化・充実」については、財政的な問題なども考えると現実に即した表現にしたほうがいいのではないかと思う。現実的には縮小する方向にあると思う。	4	4	4	3	6 質問事項と捉えるもの	財政的な課題など、厳しい状況にあるのは事実だが、基本計画は、今後の課題に対して取り組む姿勢を記載するものである。
34	渡辺委員	市長は、医療体制の強化・充実という姿勢はもっていないと思う。救急医療センターもこれから拡充を図ろうという段階で、現行建物のまま改修する方向性を示した。また、実態として、夜8時以降には三浦半島全域を見渡しても眼科医はいないと言われたこともある。このような状況にありながら、基本計画で強化・充実と表現するのは話が飛躍している。	4	4	4	3	6 質問事項と捉えるもの	財政的な課題など、厳しい状況にあるのは事実だが、基本計画は、今後の課題に対して取り組む姿勢を記載するものである。
35	藤原委員	基本計画に記載されていることは、すべて行政が行うということではなく、市民・団体にもそれぞれ役割分担がある。市の姿勢として、将来こうあるべきだという意気込みを記載するものであり、現状がそうではないから記載しないということではない。表現方法は別にしても、もっと長い目で見て「こういう方向に進んでいく」ということを記載すること自体はいいと思う。また、これに記載することで、予算立ててしまわれ、予算がつきやすくなるということも考えられるので記載すべき。	全	-	-	-	6 質問事項と捉えるもの	財政的な課題など、厳しい状況にあるのは事実だが、基本計画は、今後の課題に対して取り組む姿勢を記載するものである。
36	大武委員	「4-1 平和と人権を尊重する誰にも開かれたまちづくり」について、誰もが幼い時からお互いに人権を尊重する土壌をつくるのが一番の基本だと思う。これは教育の問題かもしれないが、どう表現すればいいかと難しい。	4	4	1	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	人権尊重の理解など、基礎的な人づくりの要素は「3-2-1 生きる力を伸ばす教育の充実」で捉えている。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
37	大武委員	「4-3 総合的な地域福祉サービスの推進」のような柱があるが、将来を見渡してみると高齢化は進行し、担い手は減っていく中、どのようにして効果的・効率的に進めていくかが、都市づくりにかかわってくる。	4	4	3	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	少子高齢化については、第1章でふれており、また効果的・効率的に進めることは計画全体を通じた共通理念と認識している。
38	大武委員	市内は車を止める場所が少ない。他地域から人を呼び込んで地域活性化させようという時に、とどまれるようなところはないし、公衆トイレも少ない状況である。文化とは何かというと、たまり場的なものやトイレの整備状況など、人間的な生活の基本にかかわる部分だと思う。そして、これらが整っている状態がユニバーサルなまちづくりであると思うし、健康づくりにもつながると思う。	4	4	2	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	意見にあるようなたまり場やトイレの整備も含め、「4-2 ユニバーサルデザインのまちづくり」で、誰もが社会活動に参加できる環境をつくるという要素を捉えている。
39	影山座長	「4-5 コミュニティへの支援」のところ、世代間交流については、柱として載せてもいいと思う。	4	4	5	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	現行計画にあった「世代間交流の推進」については、個別の施策で捉えるのではなく、さまざまな施策を推進する上での共通理念として捉えている。今後、重点プログラムに掲載するなど、共通理念として明確に捉えられる方法を検討する。
40	森川委員	今まであるものや、今までの人との間だけで新しいものをつくる視点のみならず、新しい刺激や別のものとの融合も必要。素案に記載されている「4-5 コミュニティへの支援」については、コミュニティ内でのことに特化したような表現が多い。コミュニティの中も大事だが、コミュニティ間のつながりについても何か行うということを市として補足してもいいのではないか。	4	4	5	1	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	「4-5-1 コミュニティへの支援」には、コミュニティ内のみならず、コミュニティ間など外に向けた活動も含まれる。
41	植竹委員	「2-3 産業の成長支援と企業誘致」については、デパートの撤退・縮小などが生じた後に支援をしても効果がでるのかどうかは疑問。人も集まらず寂しいまちになっていく。	4	2	3	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	デパート等の商業については、「2-5-2 魅力ある商業集積の促進」で捉えている。
42	澤田副座長	「4-1-1 平和を愛する社会の形成」については、もっと分かりやすい表現はできないのか。	4	4	1	1	6 質問事項と捉えるもの	「4-1-1 平和を愛する社会の形成」の柱名称については、特段分かりにくいものとは考えていない。
43	澤田副座長	「4-1-2 人権を尊重する社会の形成」については、もっと分かりやすい表現はできないのか。	4	4	1	2	6 質問事項と捉えるもの	「4-1-2 人権を尊重する社会の形成」の柱名称については、特段分かりにくいものとは考えていない。
44	澤田副座長	「4-1-3 男女共同参画社会の形成」については、対象を男女間に特定せずに、いろいろな方々の違いを認め、助け合う社会を形成していくという視点のほうがもっと広がりが感じられるのではないか。	4	4	1	3	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	「4-1-3 男女共同参画社会の形成」は、「4-1-2 人権を尊重する社会の形成」のうち、男女間の人権を取り出して記載したものである。よって、男女間以外の人権尊重、助け合う社会という視点は4-1-2で捉えている。
45	澤田副座長	「4-2 ユニバーサルデザインのまちづくり」については、もう少し心のバリアについて触れたほうがいい。	4	4	2	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	心のバリアフリーの要素は、人権尊重の考え方の一部であることから、「4-1-2 人権を尊重する社会の形成」で捉えている。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
46	澤田副座長	「4-4 健康づくりの推進と医療体制の充実」について、これからの10年は、認知症のケアが最大のテーマであり、暖かく豊かな社会を築くカギを握っている気がする。地域包括ケアの部分充実させてはどうだろうか。	4	4	4	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	地域包括ケアとは、要介護状態となった高齢者が住み慣れた地域で生活し、自分らしく生きていけるように、多様な支援を包括的に提供する仕組みである。その考えは「4-3 総合的な地域福祉サービスの推進」で捉えている。
47	澤田副座長	「4-4-1 心の健康づくり」、「4-4-2 健康維持のための環境づくり」について、心と体の健康は一緒に、さらに、これと生きがいもセットだと思う。	4	4	4	1	1 意見を踏まえ修正するもの	心身の健康は一体的であることから、「4-4-1 心の健康づくり」と「4-4-2 健康維持のための環境づくり」を統合し、「心とからだの健康づくり」とする。 なお、生きがいについては、健康であることは結果として生きがいにつながるものと考えている。
48	澤田副座長	「4-4-2 健康維持のための環境づくり」について、健康維持というのはちょっと無理がある気がする。今の状況を維持することは難しいのではないかと。最終的には、成長、発達、成熟するというのはあるけれども、ここで維持というのはちょっと違う気がする。	4	4	4	2	1 意見を踏まえ修正するもの	心身の健康は一体的であることから、「4-4-1 心の健康づくり」と「4-4-2 健康維持のための環境づくり」を統合し、「心とからだの健康づくり」とする。
49	澤田副座長	「4-4-3 医療体制の強化・充実」については、地域のかかりつけ医や看取りを充実させる状況を構築していくことで人と人との絆を強めていくことができる。医療・介護とどのように連携していくかが今後の重要な課題である。	4	4	4	3	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	住み慣れた地域におけるかかりつけ医や看取りの充実といった要素は「4-4-3 医療体制の強化・充実」で捉えており、最期まで住み慣れた地域で過ごすための前提として、医療と介護の連携は必要であると認識している。
50	遠藤委員	「4-4-2 健康維持のための環境づくり」について、健康維持ではなく、「健康を守るための」といった形で表現してみてもどうだろうか。健康を守るための支援が重要。	4	4	4	2	1 意見を踏まえ修正するもの	心身の健康は一体的であることから、「4-4-1 心の健康づくり」と「4-4-2 健康維持のための環境づくり」を統合し、「心とからだの健康づくり」とする。
51	遠藤委員	「4-4-3 医療体制の強化・充実」については、医師の確保の話だけではなく、医療全体の話として救急医療体制の整備についてもふれたほうが良いのではないかと。	4	4	4	3	6 質問事項と捉えるもの	救急医療体制の整備については、「5-2-2 消防・救急・救助体制の充実」で捉えている。
52	影山座長	今日の議論を終え、市民として何をすべきかということと行政として何をすべきかということのズレがあったように感じられた。あれもこれもできるわけではないので、共に何かを作っていくという呼びかけのようなものが、最初のほうの前文でもいいからあるといい。少し今までの作り方のコンセプトを変えて発信してもいい。	は	-	-	-	3 既に基本計画素案に盛り込まれているもの	行政と市民が思いを共有するという要素は、「はじめに」で捉えている。